

先進光学衛星のミッション目標 ②地理空間情報の整備・更新

【ニーズ】

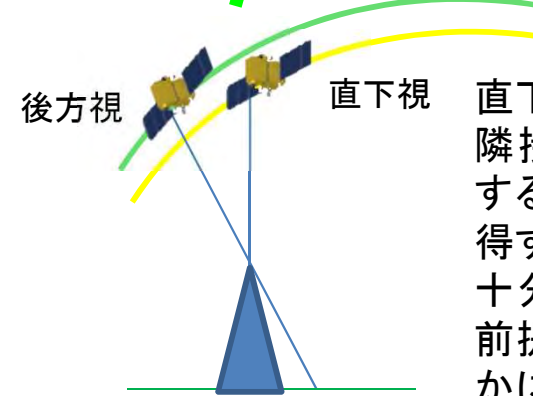
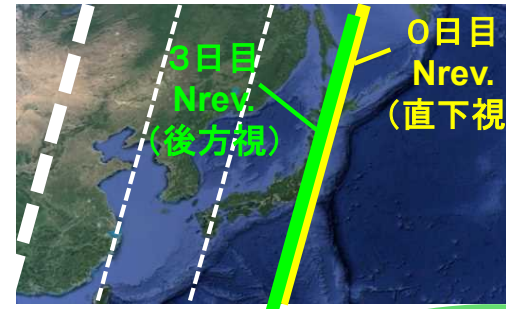
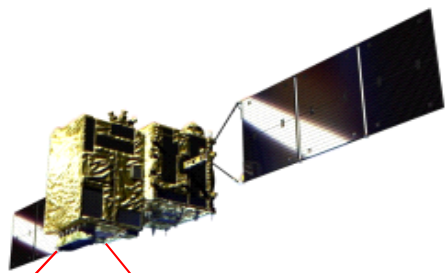
- ・地理空間情報が、国民により身近なものになっており、当該分野のユーザから精確で鮮度の高い地理空間情報を適切に整備・更新することが求められている。



【先進光学衛星実現後】

- ・先進光学衛星で標定精度*1を満たす衛星画像データを取得し、都市計画区域外の基盤地図情報の更新に利用*2。

*2 航空機による写真測量を補完するものとして活用



2パス立体視の概念図

直下視での観測地点を、別日に隣接するパスから後方視観測することにより立体視画像を取得する。(2パス立体視)
十分な画像データ量の取得を前提として、標定精度を満たすかについて今後検証することを、JAXAと国土地理院で確認した。

衛星データ(ALOS)

1/25,000地形図の作成
(国土地理院)

*1 都市計画区域外(25000レベル)の基盤地図情報の標定精度
(基本図測量作業規程(案))
平面位置の標準偏差 7.5m以内、標高の標準偏差 2.5m以内